

日常の「やりたい」が叶う

令和6年3月松江市

公園のあり方 整備方針書

(素案)



「松江で作りだそう、
きらりと光る公園の魅力」



はじめに

松江市は古くからの歴史、文化が残る城下町で、基本構想に松江のあるべき姿・将来像に「夢を実現できるまち・誇れるまち 松江」を掲げ、多様な施策に取り組んでいます。

松江が「夢」と「誇り」にあふれ、市民の皆様がしあわせを感じるためにも、「憩いの場」であり、「遊び場」であり、「観光地」であり、「オープンスペース」でもある重要な都市機能としての公園を、将来も利用したくなる「魅力的な公園」「利用しやすい公園」とすべく、本計画を策定しました。

本計画は、個々の公園を具体的に整備して行く工程表を示すような、従来型の計画とは異なり、地域の公園を市民の皆様と一緒に、「使いやすく」「使いこなしてもらえる」施設とするための指針となるものです。

将来も利用したくなる「魅力的な公園」「利用しやすい公園」づくりには、未来に向けて松江市に関わる多種多様な方々の協力が必要不可欠です。利用される方々に「親しんでいただける」、「行きたくなる」公園を一つでも多く作って行きますので、市民の皆様をはじめとした関係各位のお力添えをお願いいたします。

目 次

第1章	公園のあり方整備方針書について	1
1-1	方針書の目的	1
1-2	方針書の対象とする公園	1
1-3	方針書の期間	1
1-4	方針書の位置づけ	2
1-5	方針書策定プロセス	2
第2章	松江市の公園の現状	5
2-1	公園の分布状況	5
2-2	公園の利用状況	6
2-3	公園に対する市民意見	6
第3章	公園の目指すべき姿	8
3-1	松江市の公園の目指す方向性	8
3-2	主要な公園の目指すべき姿	9
3-3	地域の公園の目指すべき姿	9
第4章	これからの公園のあり方	10
4-1	主要な公園のあり方	10
4-2	地域の公園のあり方	11
第5章	これからの維持管理のあり方	16
5-1	維持管理の現状	16
5-2	公園愛護団体による活動	17
5-3	これからの維持管理に関する考え方	18
第6章	実現に向けた取り組み	20
6-1	実現に向けた取り組み体制	20
6-2	実現に向けた進行管理	21

【資料編】

- 資料 1. 公園現状カルテ
- 資料 2. 公園利用者アンケート結果
- 資料 3. 学生や若者などによる提案
- 資料 4. 公園のあり方提言書

第1章

公園のあり方整備方針書について

1-1 方針書の目的

松江市には現在 400 箇所の公園（都市公園 157 箇所、普通公園 192 箇所、農山漁村公園 51 箇所）があり、住民の憩いの場として、また子ども達の遊びの場として活用されてきました。現在、松江市都市公園条例に定める、都市公園の市民 1 人当たりの敷地面積は標準面積 10 m²を満し、都市全体における量的な目標はほぼ達成されたといえます（「松江市みどりの基本計画」より）。

一方で、少子高齢化社会が到来し、多くの公園は設置後 20 年以上を経過し、公園施設が現在の設置基準や近年の環境変動、価値観の多様化に対応していないことから、今後どのように公園を整備または維持管理し、利活用していくのかが問われています。

このような現状から、画一的な公園整備からの機能転換・機能分担、雨除けや日陰となる居場所づくり、利用頻度に応じた公園施設の撤去や公園廃止の検討、ユニバーサルデザインに配慮した整備が求められています。加えて、公園は災害時の避難所や活動の拠点となる「空間」としての役割も担っています。

そこで、松江市における公園のあり方を検討し、将来も利用したくなる「魅力的な公園」「利用しやすい公園」とするために、整備や維持管理の基本的な方向性を示す「**公園のあり方 整備方針書**」を策定いたします。

1-2 方針書の対象とする公園

本方針書は、松江市内の都市公園（157 箇所）、普通公園（192 箇所）、農山漁村公園（51 箇所）を対象とします。

1-3 方針書の期間

本方針書の計画期間は、概ね 10 年間とします。

期間中は適切な進行管理を行うとともに、上位計画の見直しや社会情勢の変化等をふまえ、必要に応じて適切な時期に見直しを行います。



1-4 方針書の位置づけ

本方針書の位置づけは、「松江市みどりの基本計画（2020-2029）」（都市緑地法第4条、令和2年3月策定）において重点化されている「社会状況の変化に応じた公園機能の充実」と「人口減少に対応した見直しと再編」について、その理念を具体化するための方向性を示すものです。

最上位計画にあたる、松江市総合計画「MATSUE DREAMS2030」（令和4年3月策定）では、松江市の将来像として「夢を実現できるまち 誇れるまち松江」が掲げられており、公園については、将来像を実現するための5つの柱（基本目標）のひとつ「どだいづくり」において、親水空間の整備や「企業・NPOなどが公園で行うユニークな取組の応援」が記載されています。松江市都市マスタープラン（平成30年3月策定）においては、公園施設の計画的な更新や適切な維持管理を進めるとともに、多様な用途への利活用に向けた検討を進めるとされています。

松江市が定めている各種計画との関連性は、下図のとおりです。



1-5 方針書策定プロセス

本方針書の策定にあたり、市民や公園利用者の声からニーズを分析するとともに、年代別人口分布や保育所や幼稚園などの子育て施設の分布状況、市内400箇所の公園の現状を調査した「公園現況カルテ」などの分析結果を活用しています。

なお、方針書の策定にあたり、令和4年度に設立した「松江市における公園のあり方協議会」では、委員長ならびに10人の委員が将来の松江市の公園はどうあるべきかについて議論を深め、2年間の成果をまとめた「松江市公園のあり方提言書」が松江市に提出されました。本方針書はこの提言書を踏まえたものとなっています。

また、島根大学学生から市長への公園整備案の提案、松江商工会議所青年部による公園の利活用についての提案など、将来的に公園を利用する世代の意見にも配慮して方針書を策定しました。

【松江市における公園のあり方協議会／開催状況】

年度	回	開催日	内 容
令和4年度	第1回	令和4年7月14日(木) 10:00~11:00	・松江市の公園の状況と課題について ・利用者調査等について ・今後の進め方について
	第2回	令和4年10月4日(火) 13:00~17:00	・松江市内の公園の視察(11箇所)
	第3回	令和4年12月15日(木) 10:00~11:00	・公園の視察の感想について ・Web公園アンケート等結果の中間報告 ・公園づくり計画の方向性について
	第4回	令和5年2月27日(月) 13:00~16:00	・講演(広場ニスト:山下裕子氏) ・主要な公園の将来像について ・モデル地区(川津・持田・朝酌)の将来像について
令和5年度	第5回	令和5年6月6日(火) 13:30~16:00	・公園づくりの方向性について ・対象とする公園の仕分け方(分類と定義) ・分類別の公園の将来像について ・市域全体から利用者が集まる公園 ・目的や魅力を特化する公園 ・機能転換・分担を考え統廃合を検討していく公園 ・公園のあり方に関する提言書骨子(案)について
	第6回	令和5年8月30日(水) 10:00~12:00	・松江市公園のあり方提言書(素案)について
	第7回	令和5年11月22日(水) 10:00~12:00	・松江市公園のあり方提言書(案)について
	第8回	令和 年 月 日() ~	・松江市公園のあり方整備方針書(素案)について

【松江市における公園のあり方協議会／委員名簿】

氏 名	関係団体名
小林 久高	島根大学准教授
小谷 久美子	松江市母子保健推進員協議会 会長
武部 幸一郎	松江圏域老人福祉施設協議会 副会長
松本 朝子	子育て世代への新広報事業ねえみちよって実行委員会 委員
長岡 和志	元松江市保育所(園)保護者会連合会 会長
石川 芳廣	元松江市PTA連合会 会長
竹下 昌宏	松江商工会議所副事務局長 中小企業相談所長
落合 昭久	公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団 振興課長
村山 清春	公園愛護団 意東ゆめプロジェクト
今井 修	一般公募委員
加瀬 健志朗	一般公募委員

【協議会の様子】



【視察の様子】



【島根大学学生による公園整備案の提案の様子】



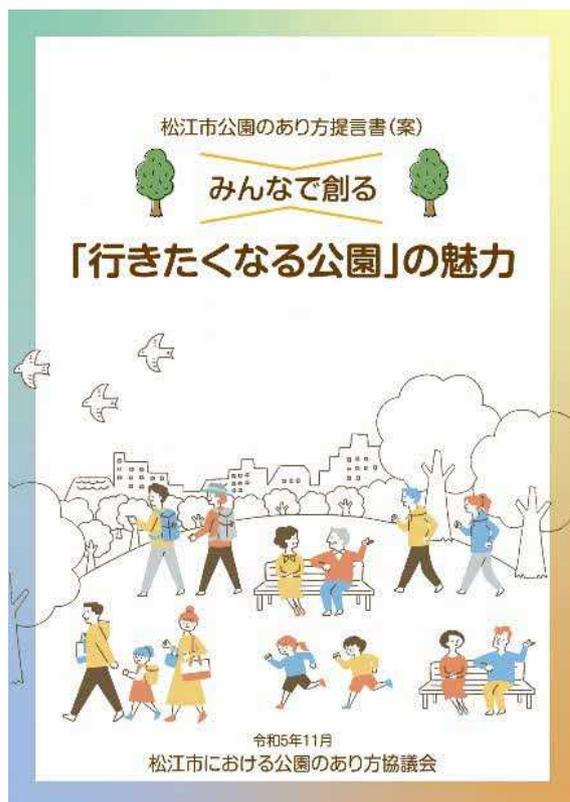
【アンケートポスター】



【松江商工会議所青年部 提言書】



【松江市公園のあり方提言書】



第2章

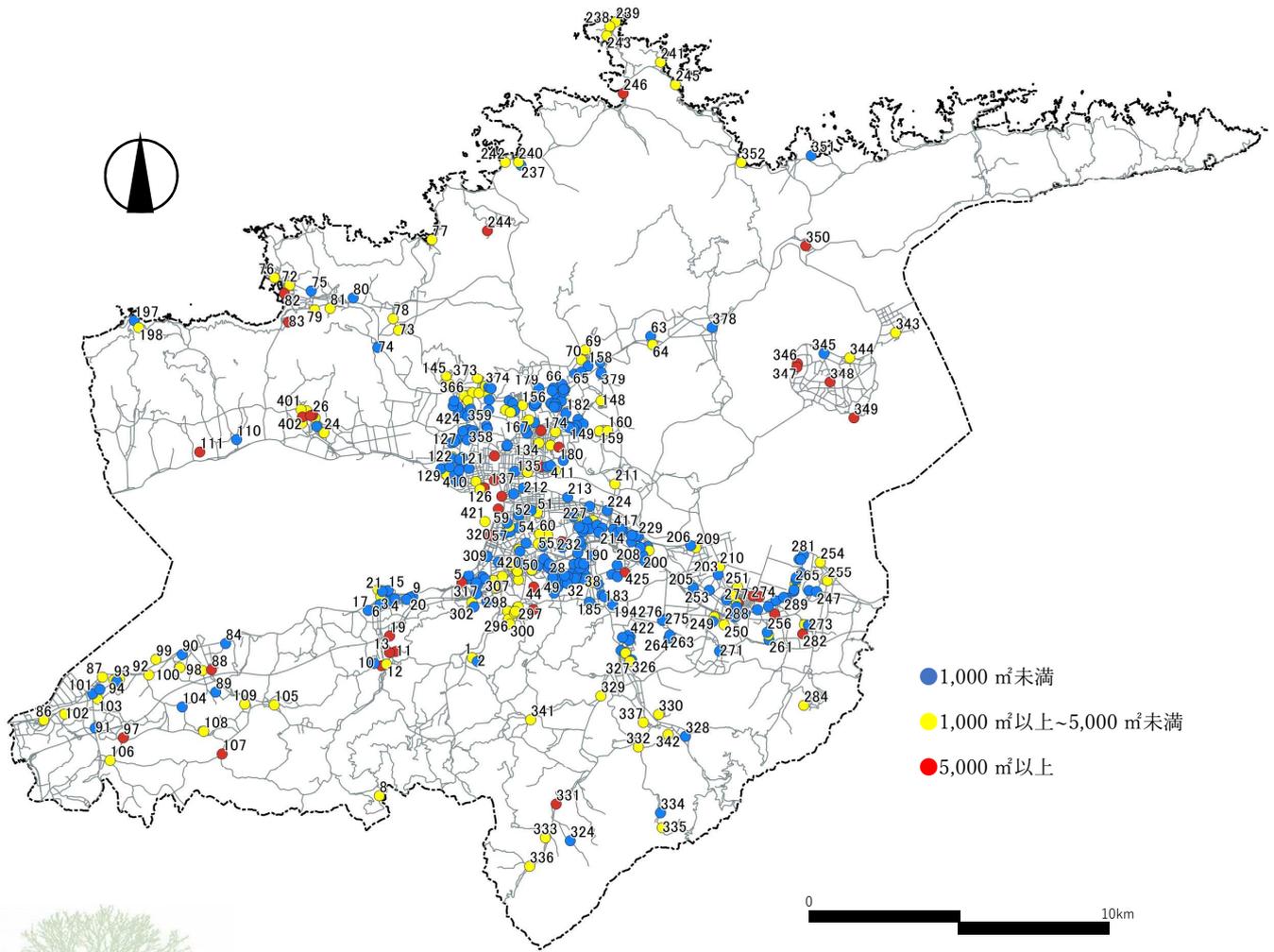
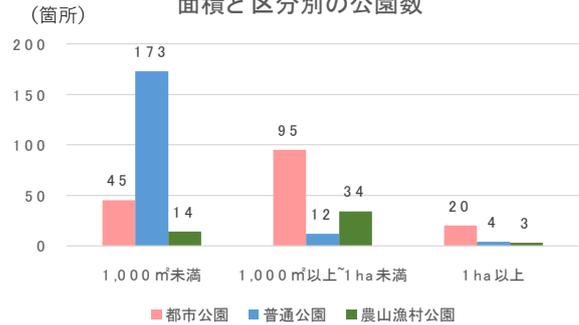
松江市の公園の現状

2-1 公園の分布状況

松江市内の400公園は、都市公園、普通公園、農山漁村公園を面積別にみると、1,000㎡未満の小さな公園が多く、中でも普通公園が173箇所と最も多く、1ha以上の大きな公園は都市公園でも20箇所となっています。

市域全体から集まる大きな公園と、地域にある中小規模の公園、それぞれに求められる機能を区分しながら検討する必要があります。

面積と区分別の公園数



2-2 公園の利用状況

松江市内 400 箇所の公園利用状況については、各公園に設置したアンケート調査への回答数から、公園に寄せられるご意見が多いほどニーズも高いと想定し、利用状況を整理しました。

結果は、菅田公園 51 件、北公園 41 件が最も多く、次いで外中原北区児童遊園地 10 件、崎田さわやか広場 10 件、南高台緑地 9 件、森脇児童公園 9 件、乃白北街区公園 8 件などがあげられます。

一方、約半数である 194 件についてはアンケートへの回答はなく、利用がみられない公園や、雑草に埋もれて全く利用されていない公園も含まれています。

アンケートで寄せられた利用者の声は、公園現状カルテに整理し、各公園を整備する段階で参考にすることとしています。

公園番号	公園名	件数
165	菅田公園	51
135	北公園	41
123	外中原北区児童遊園地	10
265	崎田さわやか広場	10
46	南高台緑地	9
233	森脇児童公園	9
311	乃白北街区公園	8
52	雑賀都市緑地	7
160	四季ヶ丘東街区公園	7
323	松江湖畔公園(白湯公園)	7
349	波入港親水公園	7
49	八雲台中央都市緑地	6
53	さいかみんなの広場	6
199	青葉台1号緑地	6
11	空口公園	5
115	アバンシティ国屋公園	5
139	南田街区公園	5
153	嵩見東都市緑地	5
156	上濱1号緑地	5
296	クレアヒル中央広場公園	5
340	日吉公園	5
346	八束千本桜公園	5

※令和 4 年 9 月～令和 5 年 8 月までの集計結果

2-3 公園に対する市民意見

【属性からみた利用状況】

Web アンケート結果から、回答者の属性は、年代では 30 代が 42.5%と最も多く、居住地では回答した公園がある公民館にお住まいの方が 65.4%を占め、公園までの主な交通手段は徒歩 66.1%、自家用車 26.8%となりました。

誰と利用するかは、子ども連れの家族利用が 68.3%と最も多く、次いでひとりが 12.9%となっています。

利用頻度は、月に 1～2 回程度と週に 1～2 回程度の利用が過半数を占めています。

公園の利用目的を複数回答で聞いたところ、子どもを遊ばせる 63.6%、散歩をする 43.1%が多く、住民の憩いの場や軽い運動の場、また子ども達の遊びの場としての利用がみられます。

これらの結果から、子どもと一緒に歩いて行ける近くの公園を利用する若い親子連れや、ひとりで散歩や憩いの場として利用する方の利用が多いことが分かります。

誰と利用するか	件数	%	この公園の利用頻度	件数	%
ひとり	67	12.9%	はじめて	64	11.5%
夫婦・カップル	14	2.7%	ほぼ毎日	58	10.5%
家族（子ども連れ）	355	68.3%	月1～2回程度	137	24.7%
家族（大人のみ）	3	0.6%	週1～2回程度	164	29.5%
友人・知人	35	6.7%	数年に1回	25	4.5%
その他	46	8.8%	年数回	107	19.3%
総計	520	100.0%	総計	555	100.0%

年代	件数	%
10代	36	6.5%
20代	64	11.5%
30代	236	42.5%
40代	127	22.9%
50代	44	7.9%
60代	35	6.3%
70代以上	13	2.3%
総計	555	100.0%

お住まい	件数	%
この公園がある公民館区内	363	65.4%
上記以外の松江市内	172	31.0%
松江市外	20	3.6%
総計	555	100.0%

この公園までの主な交通手段	件数	%
徒歩	367	66.1%
自転車	36	6.5%
自家用車	149	26.8%
自動二輪車（原付含む）	0	0.0%
バス	2	0.4%
その他	1	0.2%
総計	555	100.0%

この公園来た目的（複数回答）	件数	%
散歩をする	239	43.1%
運動をする	104	18.7%
友人と遊ぶ	37	6.7%
子どもを遊ばせる	353	63.6%
花や緑、自然を楽しむ	74	13.3%
のんびり休む	80	14.4%
食事をする	25	4.5%
談笑する	23	4.1%
その他	60	10.8%
回答者数	555	-

【公園に対する満足度】

利用した公園の満足は、総合評価では、普通が 31.0%、満足とやや満足が 33.0%、不満とやや不満が 34.1%と 3 つに分かれました。

項目別にみると、満足傾向にあるのは、自然の豊かさ、雰囲気や景色、公園利用者のマナーで、不満傾向にあるのは、水飲みやトイレなどの利用、施設の状態、公園の案内標識のわかりやすさ、運動・スポーツの利用があげられます。

この公園の満足度 (%)	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	計
花や緑、自然の豊かさについて	22.2%	22.7%	31.0%	16.9%	5.6%	1.6%	100.0%
落ち着きや雰囲気、景色について	23.8%	26.7%	32.8%	9.9%	4.7%	2.2%	100.0%
施設の状態について（新しさ、古さ）	11.4%	15.7%	27.6%	32.6%	10.6%	2.2%	100.0%
維持管理（草刈り等）の現状について	16.8%	17.3%	28.5%	25.4%	10.3%	1.8%	100.0%
子どもの遊び場としての安心感、安全性について	13.9%	20.9%	29.4%	24.9%	9.2%	1.8%	100.0%
バリアフリー配慮について	10.5%	15.3%	41.4%	21.6%	8.8%	2.3%	100.0%
散策や憩いの場としての利用について	16.6%	19.3%	35.5%	17.8%	8.8%	2.0%	100.0%
運動・スポーツの利用について	10.1%	17.8%	33.3%	26.1%	10.5%	2.2%	100.0%
緑や生き物の観察・学習の場としての利用について	11.0%	18.6%	39.1%	22.0%	7.2%	2.2%	100.0%
利用規制や禁止事項などの利用上のルールについて	12.1%	15.3%	50.8%	14.4%	5.4%	2.0%	100.0%
水飲みやトイレなどの利用について	6.1%	10.6%	23.8%	38.2%	18.9%	2.3%	100.0%
公園の案内標識などのわかりやすさについて	6.7%	13.7%	47.2%	21.3%	9.2%	2.0%	100.0%
公園を利用する人々のマナーについて	14.2%	19.1%	45.8%	14.2%	3.8%	2.9%	100.0%
この公園の総合的な満足度	7.6%	25.4%	31.0%	23.8%	10.3%	2.0%	100.0%

よく行く公園について、気に入っているところを複数回答で聞いたところ、身近な公園だから 62.9%が最も多く、次いで子どもを安心して遊ばせられるから 37.9%、楽しい遊具があるから 34.9%となっています。

その公園の気に入っているところ（複数回答）	件数	%
身近な公園だから	310	62.9%
子どもを安心して遊ばせられるから	187	37.9%
楽しい遊具があるから	172	34.9%
ゆっくり休むことができるから	87	17.6%
健康づくりができるから	48	9.7%
景色がきれいだから	86	17.4%
その他	56	11.4%
回答者数	493	-

【公園に望むこと】

利用した公園に限らず、公園全体に望むことを年代別にみると、10代～20代ではスポーツやアウトドア、30代～40代の子育て世代では子ども中心の環境、50代以上では憩いの空間を望むなど、年代によって公園に望む内容が異なります。世代別に望む環境を機能分担の観点から整備するなど、特色ある整備が望まれる結果となっています。

公園に望むこと（複数回答）	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
住まいの近くやまちなかなどにある身近な公園	69.4%	53.1%	58.9%	44.9%	43.2%	42.9%	46.2%	53.2%
子どもを安心して遊ばせられる公園	55.6%	75.0%	86.0%	80.3%	63.6%	54.3%	61.5%	77.1%
楽しい遊具がある公園	52.8%	62.5%	72.9%	50.4%	34.1%	37.1%	15.4%	58.6%
緑や花がきれいな公園	44.4%	43.8%	41.1%	41.7%	54.5%	54.3%	46.2%	43.8%
ゆっくり休むことができる公園	52.8%	39.1%	36.9%	42.5%	70.5%	51.4%	53.8%	43.4%
スポーツや健康づくり、行事を楽しむことができる公園	47.2%	32.8%	27.1%	33.1%	36.4%	28.6%	23.1%	31.2%
本格的な競技大会などができる公園	13.9%	1.6%	3.4%	3.9%	4.5%	5.7%	0.0%	4.1%
緑豊かで自然とふれあえる公園	33.3%	26.6%	26.7%	26.8%	45.5%	28.6%	53.8%	29.4%
さまざまな活動ができるまちを代表するような公園	30.6%	9.4%	9.3%	6.3%	11.4%	5.7%	7.7%	9.9%
アウトドアスポーツを始め、日頃できない活動を楽しむことができる公園	30.6%	21.9%	20.8%	17.3%	18.2%	8.6%	0.0%	19.3%
地域の誇りとなる歴史や文化を感じる公園	16.7%	7.8%	8.9%	4.7%	22.7%	17.1%	15.4%	10.1%
その他	5.6%	1.6%	6.8%	10.2%	11.4%	0.0%	7.7%	6.8%
回答者数	36	64	236	127	44	35	13	555

※赤色のセルは、平均値より大きい値を示します。

第3章

公園の目指すべき姿

3-1 松江市の公園の目指す方向性

松江市の公園の目指す方向性は、みどりの基本計画「2020-2029」（都市緑地法第4条）に示す都市公園の整備・管理方針に基づき、これからの公園整備を検討する際に重要な「人口減少に対応した公園機能の再編」と「社会状況の変化に応じた公園機能の充実」に対応した、将来も利用したくなる「魅力的な公園」「利用しやすい公園」を目指します。

行きたくなるような魅力的な公園とはどのような公園か、画一的な公園整備ではなく、日常の「やりたい」を叶えるような、それぞれの公園の特性に応じた魅力づくりを行っていきます。

松江市みどりの基本計画（2020-2029）

基本理念 共創と協働による水とみどりが活きる 歴史と潤いのあるまち まつえ

■都市公園などの整備・管理の取り組み
（持続可能で魅力ある公園づくり）

施策① 人口減少に対応した都市公園などの見直し
施策② 市民や民間事業者との共創・協働による
管理・運営の推進

【区域設定】 市域を16区分しコンセプトを設定



方針書では都市公園などの整備について具体化

日常の「やりたい」が叶う 公園のあり方 整備方針書
松江で作り出そう、きらりと光る公園の魅力

公園の魅力づくりでは、主に4つの視点で進めます。

視点1
公園に特徴を
持たせる

視点2
隣接する公園
同士の機能を
分担させる

視点3
公園と地域を
連携させる

視点4
公園を使いこ
なす



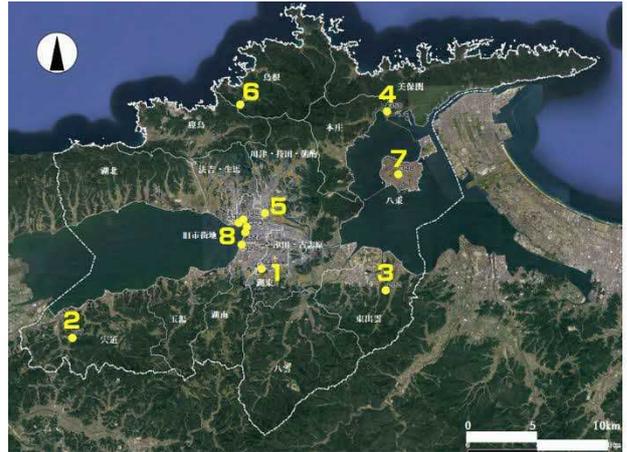
また、松江市内の 400 公園を、その特徴から大きく 2 つに区分し目指すべき姿を検討します。



3-2 主要な公園の目指すべき姿

市域全体から利用者が集まる「主要な公園」は、8 公園とします。年間を通じて休息、鑑賞、散歩、運動など総合的な利用があり、かつ一定規模の駐車場を有し、概ね 3ha 以上とします。

- 1 松江総合運動公園
- 2 宍道総合運動公園
- 3 東出雲中央公園
- 4 美保関総合運動公園
- 5 北公園
- 6 島根総合公園
- 7 大塚山公園
- 8 松江湖畔公園（千鳥南公園・末次公園・白潟公園・岸公園・袖師公園）



【目指すべき姿】

- | | |
|------------------------|---------------------|
| <u>視点 1：公園に特徴を持たせる</u> | ⇒公園ごとに利用者ターゲットを絞る |
| <u>視点 4：公園を使いこなす</u> | ⇒多様な人々と「再整備カルテ」をつくる |
| <u>視点 4：公園を使いこなす</u> | ⇒民間事業者による管理運営体制をつくる |

3-3 地域の公園の目指すべき姿

地域の公園は、市全体の 400 公園から主要な公園 8 公園を除く 392 公園とします。主な利用者は、中学校単位を基本とした周辺住民ですが、地域住民に限らず観光客も行きたくするような公園を目指し、多様なアイデアで「きらりと光る公園の魅力」をつくっていきます。

基本単位は、みどりの基本計画で 16 区分した区域で、区域内で同じような公園があり、あまり利用されていないところは、地域の方々と合意を形成しながら、思い切った方針で生まれかわった公園を目指します。

【目指すべき姿】

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| <u>視点 1：公園に特徴を持たせる</u> | ⇒目的や魅力を重点化・最大化する |
| <u>視点 2：隣接する公園同士の機能を分担させる</u> | ⇒地域全体で公園機能を分担する |
| <u>視点 3：公園と地域を連携させる</u> | ⇒地域ニーズで公園機能の転換を図る |
| <u>視点 4：公園を使いこなす</u> | ⇒地域ニーズで現状維持・統廃合を検討 |
| | ⇒地域や民間事業者との連携体制をつくる |

公園を
使い
こなす

● 開かれた場で多様な人々のアイデアを盛り込んだ案づくりを行います。

- ・オープンな場で多様な人々の話し合いにより「目指すべき姿」を検討します。
- ・多様な人々の参画により「公園再整備カルテ」を作成します。

【公園再整備カルテ】※イメージ

〇〇公園
コンセプト：〇〇〇
ゾーニング

- やりたいこと
- ・インクルーシブな公園
 - ・出入り口等のバリアフリー化
 - ・ゆったりした駐車スペース
 - ・
 - ・
 - ・週末キッチンカーによる飲食
 - ・常設カフェ
 - ・

公園を
使い
こなす

● 民間事業者との連携により、魅力ある公園づくりを行います。

- ・多様な人々が参加でき、カフェや有料化できるメニューなどによる収益を可能とし、維持管理の費用にも充てんします。

【魅力アップ】※イメージ

公園内カフェ



観光客用荷物預かり

ランニング用シャワー



週末飲食出店ブース

常設バーベキュー

コンビニエンスストア



4-2 地域の公園のあり方

公園に
特徴を
持たせる

● 目的や魅力を重点化・最大化する

【子ども遊び広場】※イメージ

- ・ 走る
- ・ ボール投げ
- ・ 水遊び

ボール遊びができる広場イメージ



◇整備内容：広場、防球ネット、水遊びに特化した公園

【自然観察・ふれあい広場】※イメージ

- ・ 自然観察
- ・ 自然とのふれあい
- ・ ビオトープ

植物観察

◇整備内容：自然環境を生かした自然とのふれあい環境整備

【野菜栽培と収穫体験】※イメージ

- ・ 園芸や畑栽培
- ・ 収穫体験
- ・ キャンプ体験

家庭菜園



◇整備内容：農山漁村公園や住宅内の公園で行う自然体験可能な整備

【動物ふれあい広場】※イメージ

- ・ ペットとのふれあい
- ・ ドッグラン
- ・ 動物と一緒にのカフェ

ドッグラン

◇整備内容：ペット同伴で楽しめる環境



隣接する
公園同士の
機能分担

● 地域全体で公園機能を分担する

- ・ 地域の人々の合意の上、隣接する公園で同じような機能がある場合、それぞれの公園で機能を分担し、より魅力的な公園として整備する。

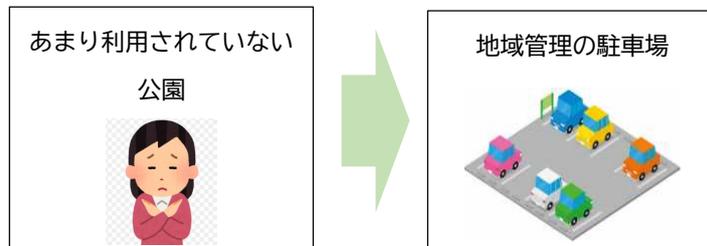
【機能分担】※イメージ



公園と
地域を連携
させる

● 地域ニーズで公園機能を転換する

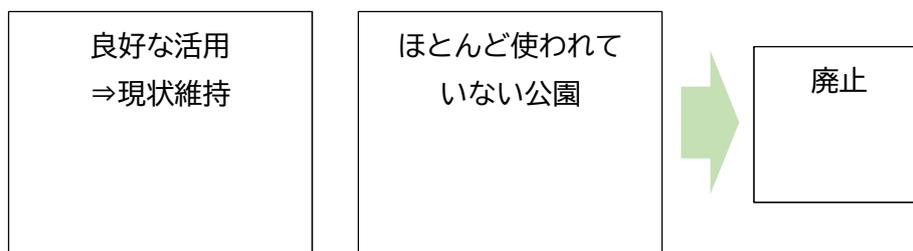
- ・ 地域の人々の合意の上、憩いや遊びの空間は近くの公園を利用している場合には、地域の人々が活用できる駐車場に用途を変更するなど、機能を転換する。



公園を
使い
こなす

● 地域ニーズで現状維持・統廃合を見極める

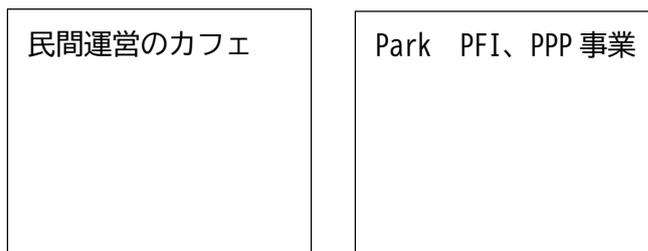
- ・ 現在も良好な活用が行われている公園は現状維持を目指す。
- ・ 近くに公園があり、ほとんど使われず雑草に埋もれている公園は廃止も検討。



公園を
使い
こなす

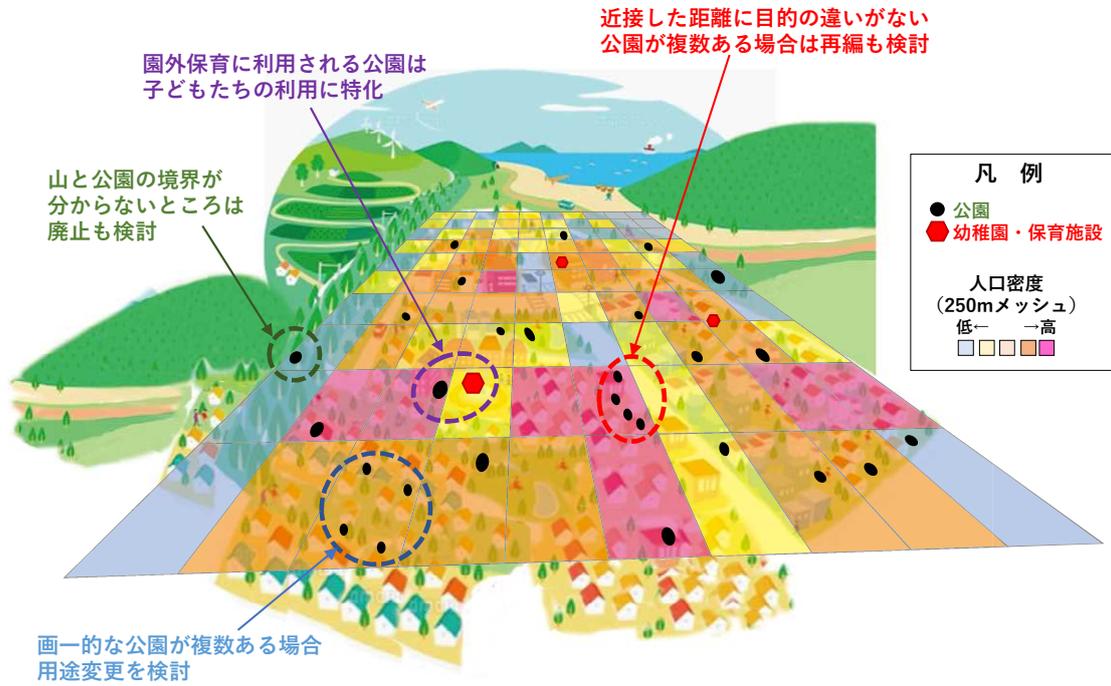
● 地域や民間事業者との連携による管理運営体制づくり

- ・ 愛される綺麗な公園を維持していくためには、地域の人々や民間事業者と連携して、維持管理や運営の体制づくりが必要です。
- ・ 魅力的な公園とするための管理運営体制づくりを行います。



【地域の公園の整備イメージ】

例) 現状分析から整備の方向性を地区全体で検討する

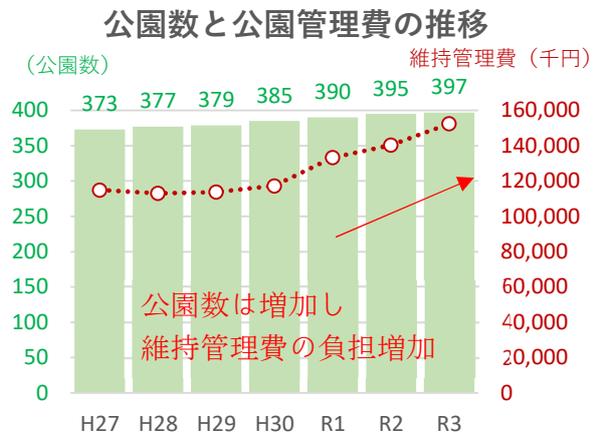
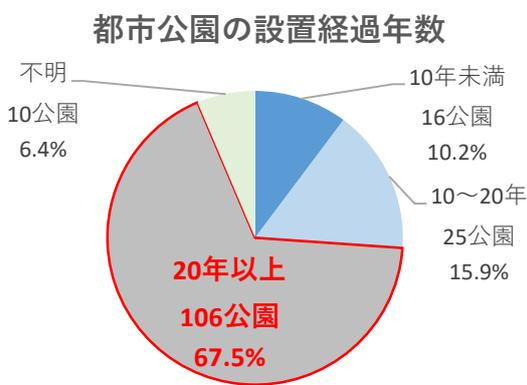


第5章

これからの維持管理のあり方

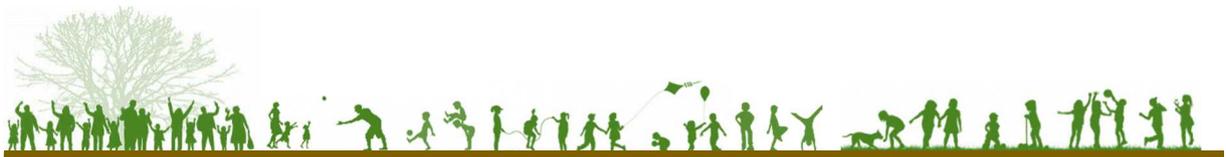
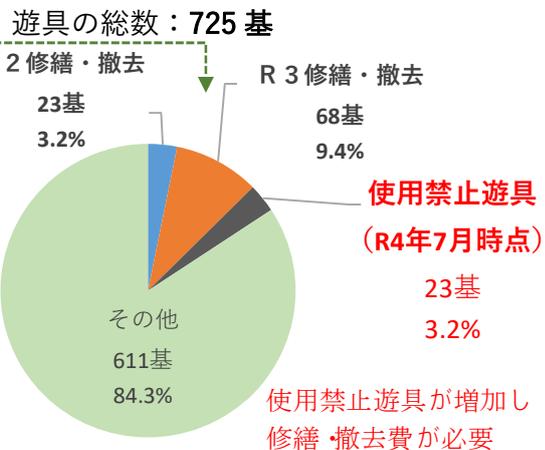
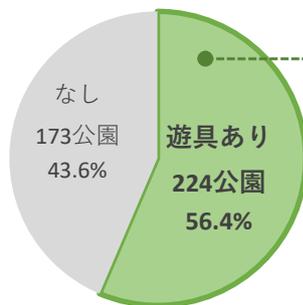
5-1 維持管理の現状

松江市の公園は、面積の小さな公園が多数を占めている上、都市公園の約7割が20年以上経過した老朽化した公園となっているため、修繕や維持管理にかかる経費が年々増加しています。



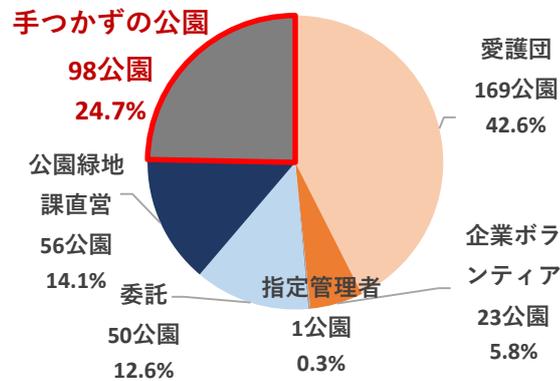
遊具やトイレなどの施設では、老朽化したものもあり、順次、修繕や撤去を行っているものの、対応が必要な公園全てを行うには数が多すぎるため、使用禁止遊具が増加しています。

公園の遊具の有無 (397公園)



日常の維持管理の状況は、全体の約 4 割の公園で公園愛護団による管理活動が行われています。そのほか、市直営・市からの委託による管理が約 3 割、企業ボランティアによる管理が約 5%となっており、残りの約 25%、約 100 箇所の公園は維持管理が手つかずの状態となっています。

公園管理の状況（R3年度）

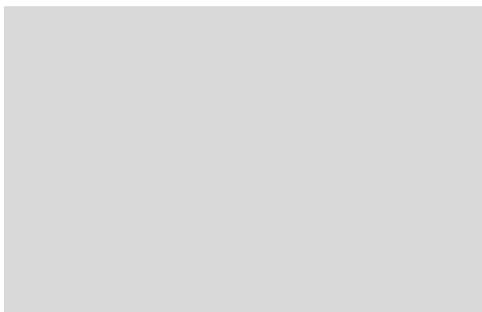


5-2 公園愛護団体による活動

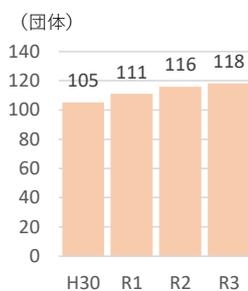
松江市では、公園の適正な管理及び地元住民の公園に対する愛護思想の普及を図るために、公園愛護推進事業を行っており、令和 5 年 11 月現在、176 公園において、121 の公園愛護団体が公園の清掃や点検などの維持管理活動を行っており、愛護団体の構成員は合計約 12,500 人となっています。

公園愛護団は公園の維持管理に非常に重要な役割を担っていますが、参加者の 8 割が 50 代以上で、高齢化による退会の問題や、新しく造成された団地では維持管理を行うコミュニティづくりがこれからであるなどの課題も抱えています。

【公園愛護団の活動の様子】

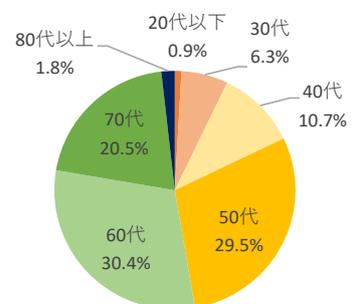


公園愛護団体数



退会団体 R1：2 団体
R2：1 団体
R3：3 団体

公園愛護団年代（アンケート調査）



50代以上が
8割を占める

5-3 これからの維持管理に関する考え方

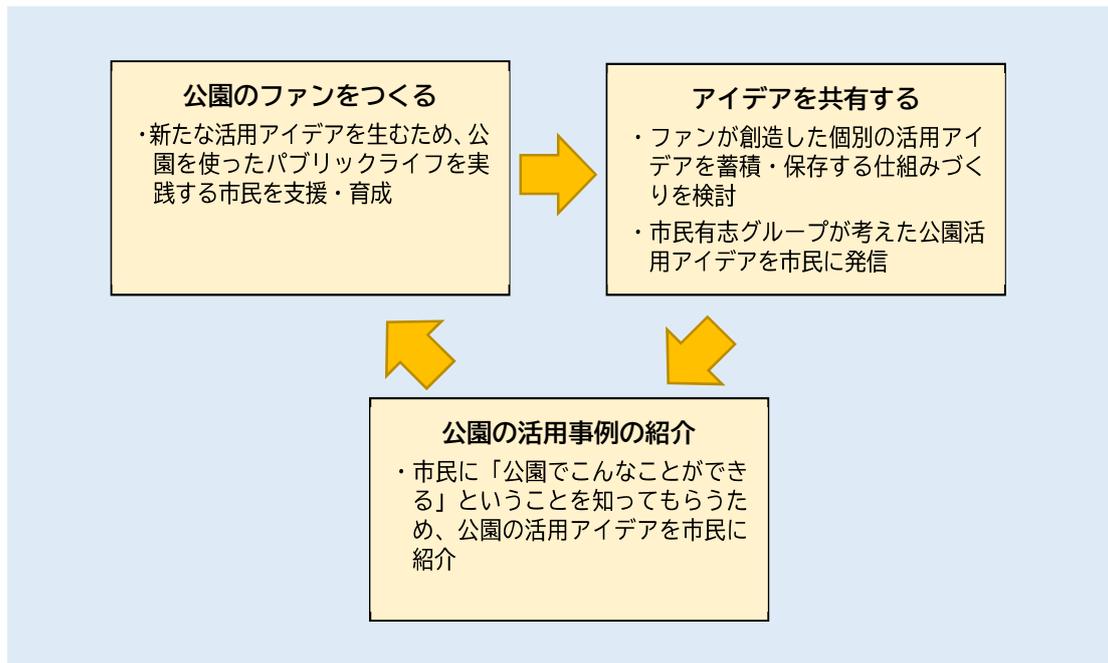
これからの維持管理には、公園管理者以外との協働・連携が欠かせないと考えています。そのためには地域の人々による維持管理、目的に応じた公園利用者自身による維持管理、民間による運営管理など、多様な人々が多様な深さの関わり方をすることが必要です。

公園の維持管理に関わるためには、公園づくりのプランづくりの段階から参画し、自分たちの「魅力的な公園」「利用しやすい公園」に対するアイデア出しをすることで、維持管理への積極的な参加意識を醸成します。

また、主要な公園では、ゾーンごとに利用者や地域の人々など、複数の人々による連携を行うため、緩やかなルールの作成や、常にオープンな場での話し合いによりルールの見直しを図る必要があります。

このように多くの人々が参画して維持管理を行うためにも、公園づくりに関わることで公園のファンになり、自分たちのアイデアで魅力的な公園とし、素敵な公園をつくったことの周知までを一貫して伝えることも重要です。

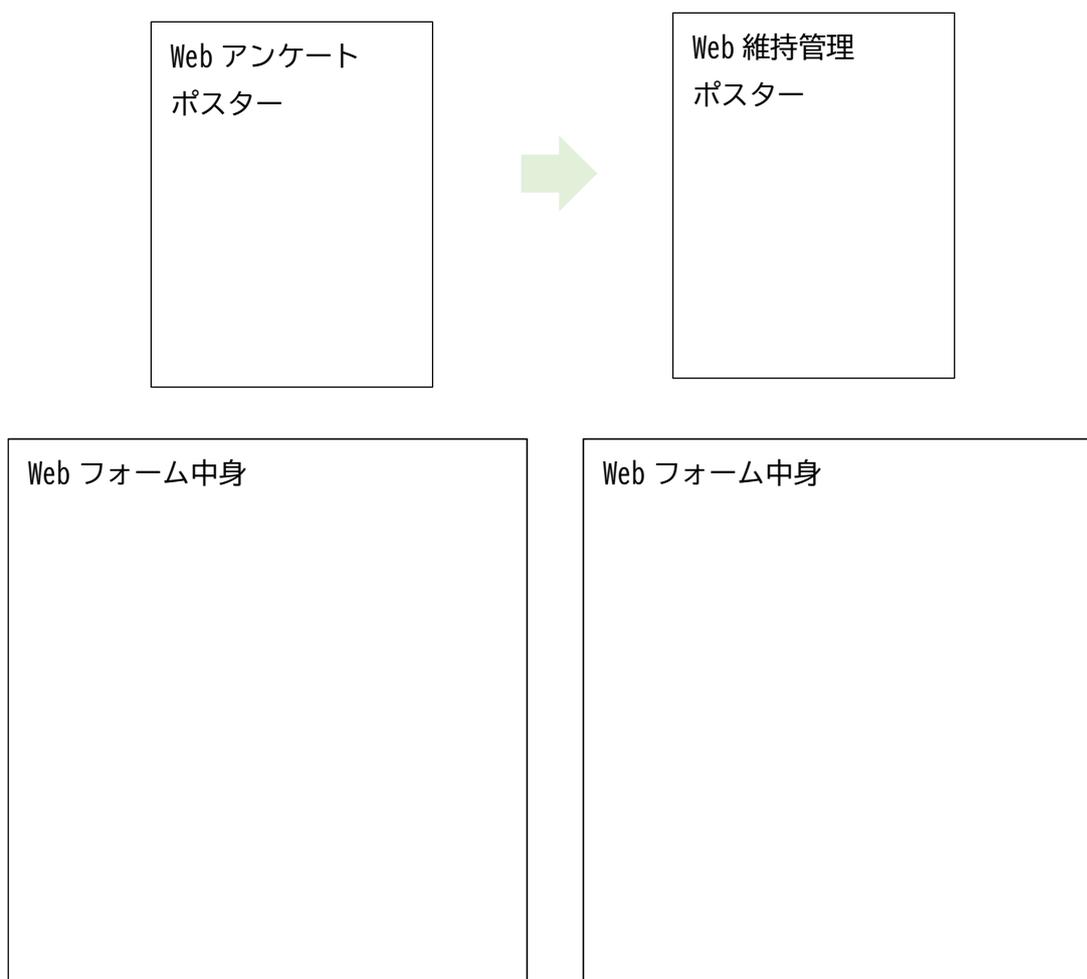
【公園の魅力を発信するための取組のイメージ】



日常のメンテナンスについては、公園利用者や近隣住民の協力を仰ぎます。

この方針書を作成する段階で 400 公園に設置した Web アンケートフォームを改良し、どの公園でどのような不具合が生じているかなどの情報を Web フォームで送信できる仕組みをつくります。

このフォームによって、何番の何公園でどのようなことが起こっているのか、リアルタイムで情報を入手でき、市民と公園管理者双方のコミュニケーションを円滑化します。



【公園内循環型落ち葉管理】案

公園内の一角に落ち葉を活用した堆肥づくりスペースを設置し、公園内で出る落ち葉や剪定した樹木を土作りに活用する方法を実験してみます。

運搬にかかる労力や費用も抑えながら、公園内で循環することで、公園利用者や地域の人たちが気軽に堆肥づくりスペースを活用できるようにし、気軽な維持管理活動への参画を可能とします。

フロー図

第6章

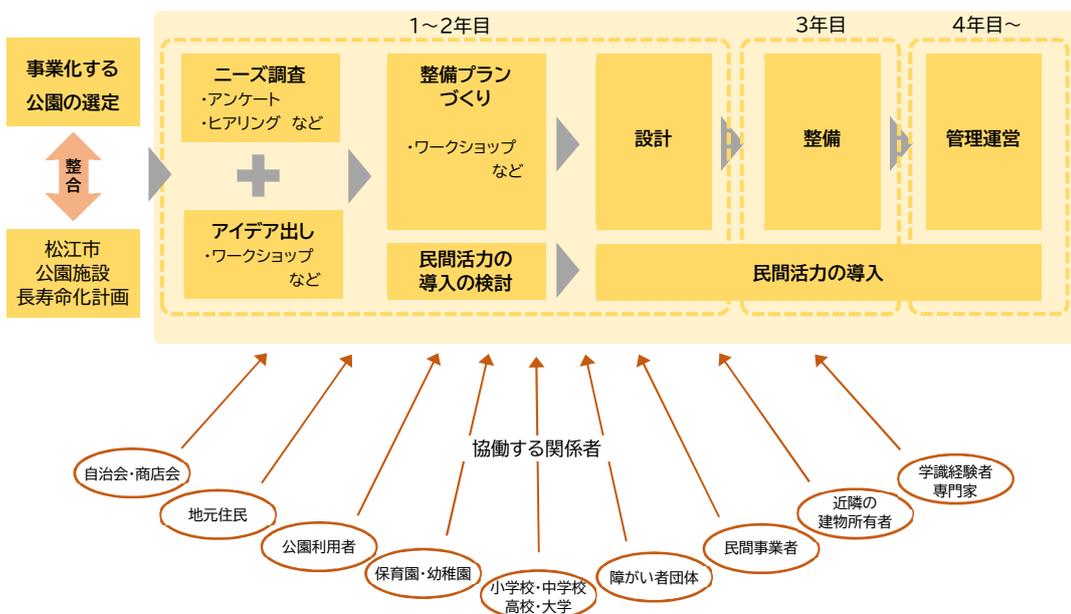
実現に向けた取り組み

6-1 実現に向けた取り組み体制

これまでの公園整備は、市が作成したプランを基に、地域の関係者へ説明・ヒアリングを行い整備案を決定する定型的な進め方でした。決定した整備案を基に、設計・施工を行い、完成した公園は愛護団体などが行う清掃活動など、一部は維持管理に関わっていますが、大半は市が管理運営してきました。



これからの公園整備は、日常の「やりたい」が叶う魅力的で利用しやすい公園づくりを行うため、公園利用者だけでなく、公園を利用していない人や観光客など多様な意見を取り入れることが重要と考えています。公園の規模や地域の状況から、整備後の維持管理も含めた多様な関係者との協働を検討する公園、インクルーシブな公園、地域内のバランスで地域の人と考える公園など、対象となる公園の選定を行うところから、市民合意のプロセスをとりながら進めていきます。



※公園の規模や地域の状況に応じて関係者などの範囲を検討



6-2 実現に向けた進行管理

本方針書に掲げた取組の確実な実施に向け、取組の実施状況について定期的に確認を行い、「良かった点」「改善すべき点」をふり返し、改善策を講じながら実行する PDCA マネジメントサイクルに基づき、進行管理を行います。

また、取組の実施・達成状況のほか、上位計画の見直しや社会情勢の変化等をふまえ、必要に応じて適切な時期に見直しを行います。

【PDCA マネジメントサイクルによる取組の進行管理】

